
例えば、花が平和の証なら。

柵阿叫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

例えば、花が平和の証なら。

【Nコード】

N9264T

【作者名】

柵阿叫

【あらすじ】

世界は、能力者たちの戦争の真っ只中。
そんな中、主人公「岩鏡雛菊」は紫の頭髪をした青年「藤村紫苑」に出会う。

生きていく、意味。

戦う意味。

命の意味。

二人は、世界を暴いていく。

プロローグ (前書き)

拙い文章です。

今回は世界観の説明がメインかもしれませんが。

プロローグ。

2060年、7月14日。

戦争が、始まった。

いつの間にか、手に入れていた能力【ライン】を使って、能力にはムラがあつて、誰しもが使えるわけじゃなかった、けど。

皆が皆、自分のエゴを押し付けあつようになって

能力をぶつけるようになって

武力でしか解決しようとしなくて。

武力で国民を押さえつけようとする政府に

一部の国民が立ち上がった。

それでも、数の多い政府派は抵抗する。

多分それが戦争の始まりだったんだと思う。

いまだ、国民を押さえつけようとする【政府派】と【軍】

そんな政府を崩そうとする【反政府派】

抗争はただただ深まるだけだった。

都市は壊滅状態。

砂漠のような地域が増え、花は枯れた。

それが、数十年前の話。

今も、戦争は続いている。

私は、私たち【ハッピーチルドレン】はそんな世界に生まれた。

ハッピーチルドレン…

自らを守るラインを、生まれた時から握る子供たちの総称。

ハッピーチルドレンは、“正しくラインを使うため”にある程度の教育を施される。

…政府流の“正しい”は偏りすぎな気がするが。

彼らの言う“正しい”は、自分達の言うことを聞く、殺人兵器になることだった。

毎朝、毎晩。

政府の素晴らしさとやらをとくとくと説かれた。

欠伸をもらすことさえも許されない窮屈な講話。

それを真面目に聞いていた奴がいたんだから、驚きだ。

ああ、あとは反政府派を見つけたときの対処方法も教わった気がする。

訓練ってやつも窮屈だった。

何処をどう突けば、人間ってやつは死に至るのか。

どうすれば確実に殺せるのか。

そんな事ばかりだった。

正直、退屈で、スリリングな毎日だったと思う。

それでも私は今、生きているのだから

それでいいか、と思う。

プロローグ。(後書き)

【ライン】

特殊な能力。

現代風に言えば、超能力に近い。

自らの肉体を強化する強化型

思想を具現化する具現型などがある。

【ハッピーチルドレン】

ラインを、生まれた時から操る子供たちの総称。

政府により、特殊な訓練を施されている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9264t/>

例えば、花が平和の証なら。

2011年10月9日03時52分発行